

関係各位

2023年7月14日

株式会社パテント・リザルト

【鉄鋼・非鉄金属・金属製品】他社牽制力ランキング 2022

トップ3は住友電工、日本製鉄、JFEスチール

弊社はこのほど「鉄鋼・非鉄金属・金属製品業界」の特許を対象に、2022年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別※に集計した「鉄鋼・非鉄金属・金属製品業界 他社牽制力ランキング 2022」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2022年に最も引用された企業は、1位 住友電気工業、2位 日本製鉄、3位 JFEスチールとなりました。

【鉄鋼・非鉄金属・金属製品業界 他社牽制力ランキング 2022 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	住友電気工業	2,124
2位	日本製鉄	1,509
3位	JFEスチール	888
4位	プロテリアル	854
5位	古河電気工業	824
6位	神戸製鋼所	783
7位	フジクラ	604
8位	三菱マテリアル	533
9位	住友金属鉱山	332
10位	東洋製缶グループホールディングス	294

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2022年12月までに公開された全特許のうち、2022年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2023年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **住友電気工業**の最も引用された特許は、昨年と同様に「抵抗温度特性、感度温度特性などのパラメータ値のばらつきが小さい薄膜歪抵抗材料」に関する技術で、ミネベアミツミの計28件の審査過程で引用されています。このほかには「圧粉磁心の製造方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、日本特殊陶業やTDKなどの計6件の拒絶理由として引用されています。

2022年に、住友電気工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は矢崎総業(99件)、次いでデンソー(74件)、古河電気工業(73件)となっています。

2位 **日本製鉄**の最も引用された特許は「製造プロセスにおける所定の状態を表わす値の予測精度を向上させた制御システム」に関する技術で、JFEスチールの計6件の審査過程で引用されています。このほか「工場、倉庫、船内等などにおける作業車両用の安全装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、コベルコ建機などの計5件の拒絶理由として引用されています。

2022年に、日本製鉄の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はJFEスチール(185件)、次いでPOSCO(43件)です。

3位 **JFEスチール**の最も引用された特許は「金属含有物からの還元金属の製造方法」に関する技術で、住友金属鉱山の「酸化鉱石の製錬方法」関連特許など計4件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022年に、JFEスチールの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は日本製鉄(182件)、次いでPOSCO(26件)となっています。

4位 **プロテリアル**は「窒化珪素焼結体基板及びその製造方法」、5位 **古河電気工業**は「電子デバイスパッケージ用テープ」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【鉄鋼・非鉄金属・金属製品業界 他社牽制力ランキング 2022データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円(税抜)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp